

DiNQL データ集計結果(2022 年度)

概要

本事業では、事業に参加した全国の病院からインターネット経由で労働と看護の質に関するデータ*1を収集し、同規模・同機能を備える病院や病棟と比較したベンチマーク評価を行い、看護の質向上のための改善活動を推進しています。

本事業で扱うデータ項目のうち、「労働と看護の質の基本となる項目」「他団体との比較が可能」「分析対象件数が小さくなりすぎない」等の基準により選択した下記 5 項目の集計結果の一部をご紹介します。なお、本ページに掲載したデータの引用時は、引用元を明示してください。

*1…最新年度のデータ項目一覧(172 項目)はこちらをご覧ください。

- ・ [各項目の定義と算定式](#) (PDF リンク)

集計結果を掲載するデータ項目：

- ・ 褥瘡推定発生率
- ・ カテーテル関連の尿路感染 (CAUTI) 発生率
- ・ 転倒・転落発生率
- ・ 誤薬発生率
- ・ 看護職員の時間外労働時間(非管理職)

※パーセンタイル値：データを小さい順に並べたとき、最小値から数えて全体の●%に位置する値を示す(25 パーセンタイル値は最小値から数えて 25%に位置する値、75 パーセンタイル値は 75%に位置する値を指す)。

※標準偏差：分布の拡がりを表す統計量の一つ。数値が大きいほど、分布のバラつきが大きいことを示す。

集計対象月：

2022 年度 10 月分

集計対象病院・病棟：

集計対象月にデータの入力があった 300 病院・3145 病棟

病院の稼働病床数

	病院数	病棟数
200 床未満	49	165
200～399 床	114	847
400～599 床	77	900
600～799 床	38	716
800 床以上	22	517

病床区分

	病棟数
一般病床	2,853
療養病床	52
感染症病床	14
結核病床	9
精神病床	78
(未回答)	139

算定する入院料

	病棟数
入院基本料のみ	2076
特定入院料のみ	571
入院基本料および特定入院料	356
(入院基本料内数) 急性期一般入院基本料	1814

褥瘡推定発生率 (DESIGN-R®分類の d2 以上)

定義

褥瘡推定発生率 (DESIGN-R®分類の d2 以上) = $A \div B \times 100$ (単位: %)

A: 1 か月間で新たに褥瘡を生じた患者数 (DESIGN-R®分類の d2 以上の人数の合計)

B: 1 か月間の病棟の入院実患者数

留意事項

- ・ DESIGN-R®分類における d2 は真皮までの損傷を表します。
- ・ 1 人につき複数回、新たに褥瘡が発生した場合も 1 人と計上しています。
- ・ 医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) は褥瘡に含みます。

2022 年度 10 月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25 パーセン タイル値	中央値	75 パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	1946	0.0	0.0	1.1	0.8	1.7
療養病床	33	0.0	1.7	5.6	3.7	6.2

カテーテル関連の尿路感染（CAUTI）発生率

定義

カテーテル関連の尿路感染（CAUTI）発生率 = $A \div B \times 1000$ （単位：‰）

A：1 か月間に発生したカテーテル関連の尿路感染件数

B：尿道留置カテーテルを使用していた全患者の、1 か月間の尿道カテーテルの総使用日数

留意事項

- ・カテーテル関連の尿路感染の定義は、(1)JANIS、または(2)JHAIS、もしくは CDC/NHSN サーベイランスの感染症判断基準に準じます。
- ・1 人の患者が 2 回感染した場合は「2 件」と計上しています。

2022 年度 10 月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25 パーセン タイル値	中央値	75 パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	943	0.0	0.0	0.0	1.7	7.4
療養病床	15	0.0	0.0	5.0	3.0	5.8

転倒・転落発生率(レベル 1～5 の計)

定義

入院患者の転倒・転落発生率 = $A \div B \times 1000$ （単位：‰）

A：入院患者に発生した転倒・転落の件数（レベル 1～5 の計）

B：1 か月間の病棟の在院患者延べ人数

留意事項

- ・「転倒」とは「自分の意志からでなく、地面またはより低い場所に足底以外の身体の一部が接触すること。スリップ、つまずき、よろめきによる、同一平面上（段差のないところ）で転ぶこと」を指します。
- ・「転落」とは「段差（高低差）のあるところから落ちること」を指します。
- ・1 人の患者が 2 回転倒/転落した場合は「2 件」と計上しています。

2022 年度 10 月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25 パーセン タイル値	中央値	75 パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2418	0.0	1.8	3.4	2.6	5.4
療養病床	41	0.8	1.3	2.7	1.9	2.0

誤薬発生率（レベル1～5の計）

定義

誤薬発生率 = $A \div B \times 1000$ （単位：‰）

A：1か月間に発生した影響度のレベル別の誤薬件数

B：1か月間の病棟の在院患者延べ人数

留意事項

- ・「誤薬」は、看護職員（看護補助者は含まない）による与薬に関するエラー（人の誤りによる事象）をすべて計上します。
- ・薬剤間違い、与薬量間違い、患者間違いなどの内容は問いません。
- ・1人の患者で2回誤薬が発生した場合は「2件」と計上しています。

2022年度10月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25パーセン タイル値	中央値	75パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2425	0.8	2.5	5.2	4.0	6.1
療養病床	37	0.0	1.1	2.5	1.7	2.2

看護職員の時間外労働時間（非管理職）

定義

1ヶ月間の1人あたり月平均時間外労働時間数（非管理職） = $A \div B$

A：毎日の看護職員の時間外労働時間数の1ヶ月分の合計

B：看護職員の実人数

留意事項

- ・看護職員（非管理職）の時間外労働時間数は、正規雇用職員だけでなく、非常勤職員も含んで計算しています。

2022年度10月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25パーセン タイル値	中央値	75パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2326	4.6	8.0	12.9	9.2	6.2
療養病床	35	1.1	2.6	5.9	4.8	6.8

(2023年10月2日掲載)